

会議議事録

2018年3月28日

宮田村役場建設課

会議 タイトル	第5回 宮田村景観審議会
内容	<p>1. 課長あいさつ</p> <p>2. 委員長あいさつ</p> <p>3. 報告事項</p> <p>(1) 景観計画の運用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・届出の状況 ・特別協議を必要とした事案について <p>(2) 景観計画の実践状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レクリエーション・観光・生産区域での景観まちづくり懇談会 ・景観まちあるきルートマップ ・「宮田村の景観を考える会」活動 <p>(3) 伊駒アルプスロードの環境影響評価準備書について</p> <p>4. 協議事項</p> <p>(1) 景観計画の実践のための今後の方策について</p> <p>5. 閉会</p>
日時	2018年3月20日（火） 午後3時00分から午後5時20分まで
開催場所	宮田村役場委員会室
出席者 (敬称略)	<p>委員：浦野宗明、伊藤恵三、田中千穂、太田保、吉澤小百合、保科茂雄、窪田守男、小田切隆幸、林明範、天野早人、矢田典和</p> <p>進行：平澤敦士（宮田村役場建設課長）</p> <p>書記：熊谷良太郎（宮田村役場建設課建設係）</p> <p>説明者</p> <p>報告事項（1）：熊谷良太郎（宮田村役場建設課建設係）</p> <p>（2）：景観アドバイザー佐々木葉、宮田村の景観を考える会代表天野早人 熊谷良太郎（宮田村役場建設課建設係）、</p> <p>（3）：平澤隆靖（宮田村役場建設課建設係長）、景観アドバイザー佐々木葉</p> <p>協議事項（1）熊谷良太郎（宮田村役場建設課建設係）</p>
欠席者 (敬称略)	竹平考輝、須永次郎
議事 (敬称略)	<p>1. 課長あいさつ</p> <p>（事務局：平澤建設課長）</p> <p>本日は委員皆さまの出席をいただきましてありがとうございます。</p> <p>会議に先立ちまして、新しく委員に区長会から選出された北林様に委嘱を行いたいと思 います。</p>

【委嘱状交付】

景観条例景観計画施行して1年経過します。周知は十分ではないかと思いますが、色々な事業を行ったり、伊駒アルプスロード建設について環境影響評価準備書の景観に関わる部分の協議も行っていきたい。

そして、来年度について何の事業を行っていくかの協議など盛りだくさんと成りますがよろしく願いいたします。

2. 委員長あいさつ

(浦野委員長)

本日も皆様のご協力を頂き、スピーディーな進行をしたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

それでは報告事項に入る前に事務局から確認事項をお願いします。

(平澤建設係長)

事務局から出席確認と資料確認をさせていただきます。

本日出席は委員総数14名の内、12名です。

宮田村景観条例第36条第2項により、過半数の委員の方が出席されていますので会議が成立したことをご報告いたします。

竹平委員はご都合により欠席の報告をいただいております。

続きまして、資料の確認をお願いいたします。

事前に配布した資料としまして、

(資料1) 次第、委員名簿

(資料2) 景観計画の運用状況

(資料3-1) 「レクリエーション・観光・生産区域」景観まちづくりに関する懇談会

(資料3-2) 景観まちあるきマップ

(資料4) 伊駒アルプスロードの環境影響評価準備書(抜粋)

(資料5) 実践として取り組む事項とその目標年次

(資料番号無し) 第4回景観審議会議事録(確定版)

また、追加資料としまして、

宮田村の景観を考える会活動報告

ようこそ宮田村へ

伊駒アルプスロード環境影響評価準備書のあらまし

を机上にお配りしました。

資料など不足はありますでしょうか。

なければ確認事項は以上です。

(浦野会長)

本日の議事録署名人について、今回は小田切委員と林委員をお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

それでは3. 報告事項に入ります。事務局お願いします。

3. 報告事項

(1) 景観計画の運用状況について

(事務局：熊谷)

それでは景観計画の運用状況について報告いたします。

(資料2)をご用意ください。

【資料2に基づいて景観計画の運用状況について報告】

この基準については景観計画を作る際に議論を重ねていただいたところになります。今後どのような案件が出てくるかは分かりませんが、宮田村の実情に合わせた作成した基準になるので全体でこういった配慮が出来ていたらと思います。

(浦野委員長)

今の報告について意見質問ありますでしょうか。

(佐々木景観アドバイザー)

特別協議の案件について、今後も引き続きの協議を求めることで条件をつけて適合としています。おおむね以前の協議の中でアドバイスを行って外壁もツートンにして欲しいと示したのですが、外壁の色彩についてこのように決定してしまったのでしょうか。

(平澤建設課長)

今後も引き続き検討していく項目になります。

(佐々木景観アドバイザー)

以前も話をさせていただきましたが、規模の大きな建築物ですので、色彩についても具体的にどのようなものですか、最終的にどうなるかなど協議をしてほしい。部会などの開催も含めて検討してほしいです。

(平澤建設課長)

継続協議ということでここに記載はしてありますが、例えばリブの幅など決まったものではないので協議を再度行い話をつめていきます。

(佐々木景観アドバイザー)

大きな工事は手戻りが難しく、修正などがあると先方にも迷惑をかける事にもなってしまいうので、いつまでに何を行うかなどスケジュール管理をしてください。

(浦野会長)

他に質問等よろしければ、(2) 景観計画の実践状況について事務局よりお願いします。

(2) 景観計画の実践状況

(事務局：熊谷)

それでは景観計画の実践状況について報告いたします。

まずは、(資料3-1)の報告、続いて(資料3-2)の報告となります。

【資料3-1、3-2に基づいて、レクリエーション・観光・生産区域での景観まちづくり懇談会についてならびに景観待ちあるきルートマップについて報告】

補足があれば景観アドバイザー佐々木先生からお願いします。

(佐々木景観アドバイザー)

レクリエーション・観光・生産区域は自主的な配慮によって景観が保たれており、そこで作られた生産品が価値につながっている地域です。そこでこの懇談会ではこの現状を保ちさらに価値を高めるためにより詳しいルールを作っていくという方向性の確認を行いました。

懇談会の要旨は資料の通りで、中には車の目線と歩く人の目線の違いなどの意見もありました。

次年度も内容について詰めていき、出来れば他の地域でもこういった取り組みを進めていきたいと思っています。

資料3-2のマップについては順番が前後しますが(資料5)「実践として取り組む事項とその目標年次」にある項目として、今年度進めていく事項の一つとしてあげられているものです。

宮田の景観を考える会や教育委員会で宮田宿を中心に様々なガイドツアーをやっていますが、今回は同じく歴史保全区域である田中道地区に広げて作ってみたものです。こうしたマップは住んでいる人にも、また外からの人にも地域の景観の魅力を見ていただくための資料です。

(事務局：熊谷)

宮田村の景観を考える会の活動については、天野委員より報告をお願いしたいと思います。

(天野委員)

【追加配布資料に基づいて、宮田村の景観を考える会の活動報告】

(浦野委員長)

今の報告について意見質問ありますでしょうか。

なければ私から、資料3-1の写真で観光開発の標記があるが、ここは一般には農業者トレーニングセンターと思われているため、分かりにくいと思うが。この写真だと何を示しているかが分かりにくい。

(佐々木景観アドバイザー)

表記を改めます。

委員には宮田の景観を考える会に参加されている方がいらっしゃるので、ご意見を伺いたいです。

(三浦委員)

宮田の景観を考える会の活動に参加している立場の意見です。こういった事業は継続していくことに意義があります。マーケットなどを行っていますが、今後、まちなかに老若男女が入っていける企画を考えています。

(田中委員)

三浦委員と同じく参加している立場からの意見ですが、協力してくれる人を方向性を同じにして続けていける体制を整えていきたいと思っています。

(藤倉景観アドバイザー)

皆さんのお手元に追加でお配りした「ようこそ宮田村へ」という少冊子をご説明します。まだパイロット版という位置づけなのですが、この冊子を見ていただくと宮田村は、面積こそ大きくはないが、多くの魅力が詰まっている村であることが分かります。蔵や町屋を考えるトークイベントの時に外部の専門家の方にお話を聞きましたが、宮田村の蔵や町屋は伊那谷でも特に素晴らしいものだと言っていました。

こういった宮田の魅力が冊子にまとめて、住民の方が宮田村やその将来を考えてもらうきっかけにできれば、また、宮田への来訪者に渡して宮田村の魅力を感じてもらえれば良いと思っています。

パイロット版を基本にして今後、中越区域や北割区域など、徐々に内容は増やしていければと思っています。

宮田の素晴らしさを一冊の冊子で理解できるものになれば良いと感じています。

(浦野委員長)

他に意見質問等よろしければ、(3) 伊駒アルプスロードの環境影響評価準備書についての説明を事務局よりお願いします。

(3) 伊駒アルプスロードの環境影響評価準備書について

(平澤建設係長)

それでは伊駒アルプスロードの環境影響評価準備書について報告いたします。

【資料4に基づいて、伊駒アルプスロードの環境影響評価準備書について報告】

準備書については分かりにくい所など多くあるので、本日は佐々木景観アドバイザーに準備書のポイントなどの説明をいただきます。

【スライドを用いて、伊駒アルプスロードの環境影響評価準備書について報告】

(浦野委員長)

今の報告について意見質問ありますでしょうか。

(天野委員)

大久保ダムより、近くの家や地元の人の視点に立った資料のほうがいいのではないかと。

(佐々木景観アドバイザー)

アセスメントはあくまで代表的、公共的な眺望点、といったみんながここから写真を撮るというようなイメージの箇所を視点場を選びます。大久保ダムもある意味公共的なもので観光資源にもなりうるので選ばれたかと思えます。

(矢田委員)

眺望点の追加は出来るのか。

(佐々木景観アドバイザー)

大久保ダムからの景観は建屋もあり角度が狭く南を見ていますが、それでもここからの景観には対策が必要だと準備書の中でいっています。この視点からだと手前の木に遮られ、絵で描くとあまり見えていないのですが、実際は車のライトなどもあるのでもっと見え

ないこともないのではないかと思います。

(伊藤委員)

実際は盛土などもあるのでもう少し見えるのではないか。工場団地にも影響はしそう。写真の赤い線が切れているのが良く分からない。建物の左までバイパスがくるのではないかなど不明な所はあります。

(佐々木景観アドバイザー)

実際、この写真は広角で撮っているので人間の目だとどのように見えるかの問題があります。

(事務局：平澤建設課長)

地区説明会でも大久保ダムの堤防の上から見た景観にはもっと影響があるのではないかと、いう話が出ました。

つつじヶ丘のところにおいても掘割になるとどうなるのかという話も出ました。

県の考えを聞いての話ですが、河岸段丘地形などがこの地域の景観の特徴なのでそれがどう見えるかを重視しているのではないかと、思われます。

(天野委員)

視点の追加は難しいと思うが、メインの道から見た見え方を多くの人が共有している。そういったところからバイパスを見たほうがいいのではないか。

(浦野委員長)

K地点では段丘を意識していて、逆からだを見上げた格好になる。不利な印象になるのでこの方向にしたのではないかと考えてしまう。

(吉澤委員)

地元の間でもこの視点の地点についてどこのことなのかが分からない。集落センターから西を見たところが気になっています。みんなが見るような集落センターからの眺望はどうなのか。

(藤倉景観アドバイザー)

結局、段丘や南アルプスが見える、ということ意外には視点がなくて、本質的な課題が見えて来ていないのではないかと。

普通のバイパスであれば、見える場所や見えない場所というのがありますが、大久保地区での大きな課題は、このバイパスが大久保地区内のほぼ全域から視認される点にあると思います。地域の風景という心象的なことから考えると大きな影響があります。選定された視点場からだけでなく地域全体に対してどのような影響が出るのかを考える必要があります。

(佐々木景観アドバイザー)

道路を見ることができる範囲である可視領域を図示してみることが大事かもしれない。

(藤倉景観アドバイザー)

地域全体の風景感覚に対しての可視領域を言ってもいいのかもしれませんが。

アルプスが見えるからその視点が重要ということではなく、この地域の景観にとっては、田園、建物、山という連続性が大事です。その間に道路が入るとするのは、住民が日常的に常に道路を意識してしまうということです。加えて地域分断が起きてくる距離が非常に長いので、日常的生活への影響度は高い。

こうした点を総体として考えて対策を打ってほしいです。また、盛土だけでなく、よう壁部分は垂直に人工構造物が立ち上がるため、景観への影響度は大きい。

(佐々木景観アドバイザー)

資料4村長意見の1番目、「主要な眺望点だけでなく・・・」という文言に対して選択されたのがK地点だとは思いますが、ほかにも面的な影響を考えることを検討したほうがいい。

(浦野委員長)

A地点において下流を見ている写真だが、上流から西を見るとアセスを通しやすい所を視点として選定しているのではと感じる。

(矢田委員)

天竜川左岸からB地点へむけて撮った写真だと全部を見ることが出来る。

(伊藤委員)

アセスを通すために無難な所をとったように感じる。アセスは名目なのか。

(保科委員)

路線を景色の中に入れた絵を出すなど、もう少し意見のいいやすい資料が良いと感じました。誰が見ても分かりやすいようなリアルな画像がほしい。

(林委員)

確かに分かりにくい所はある。本当は画像に処理をして出来ればわかりやすいのかと。この資料の造り方を含めて評価のしようがないと感じました。

(浦野委員長)

8m盛土だとどのようなイメージになるのか。

(伊藤委員)

中央道西春近のボックスカルバートの周辺のような感じかと思います。

(矢田委員)

昔の宮田のHPトップ写真の辺りが眺望点としては良いのではないのだろうか。

(天野委員)

中越をカルバートで抜ける眺望がどのようになるか知りたい。

(矢田委員)

高さ的な威圧感はないが、幅があるのでどうなるか。

(北林委員)

東伊那から大久保橋を渡った大久保地区の写真が必要なのではないか。

また、防音壁などの対策はここに予定されているのか。

(事務局：平澤建設課長)

今の段階では評価の中に防音の対策をしたほうがいい場所は宮田の中にはないが、地元からすると信号での再発進などの際の騒音についての意見は出された。

(太田委員)

使われている資料としての地図自体が古い。

(保科委員)

写真の中に道路が入れてあるが、全ての場所についてみる事が出来るのか。

(事務局：平澤建設課長)

提示されているのは、写真の中に計画路線をはめ込んだもので、全路線ではなく選定した視点から見たものだけです。

CGを使ってイメージしやすい鳥瞰図のように作成したものは地元にある？

アセスの手続きで行くと、こういう方法でやる事が決まっているのでこの形しか出せない。

(浦野委員長)

この審議会では今後この県に関してどのように対応していくのですか。

(事務局：平澤建設課長)

活性化協議会を中心に矛盾が無いように取りまとめ、整理して案としてお示しする形になります。

また来年度早々に景観審議会を開き、そこで事務局からの意見をお示しして委員の意見を頂く形にしていきたい。

(浦野委員長)

他にご意見質問なければ4. 協議事項に入ります。事務局お願いします。

4. 協議事項

(事務局：熊谷)

それでは景観計画の実践のための今後の方策について報告いたします。

【資料5に基づいて報告】

次年度以降の景観形成事業として何を行っていくかなど次回の審議会事務局から提案していきたいと思っておりますので、「これを次年度行ったほうがいいのか」や、「これ以外にも行ったほうが良い」など、自由にご意見をいただければと思います。

(浦野委員長)

今の報告について意見質問ありますでしょうか。

(天野委員)

	<p>建設課は担当課なので承知をしています。建設課以外でなにかを作る際、例えば看板やポンプ小屋など、景観計画に基づいて行ってほしい。</p> <p>(事務局：平澤建設課長)</p> <p>村が実施するものについては一定程度把握しています。</p> <p>また、庁内連携という形で係長会議でも新年度事業において洗い出しを行ないます。構造物を作る際にも個々の課だけではなく調節をしていきたい。</p> <p>(小田切委員)</p> <p>レクリエーション・観光・生産区域以外でも例えば工場団地区域でも先ほどのような懇談会を行ってほしい。</p> <p>(事務局：平澤建設課長)</p> <p>ルール作りをしていきたい。ただ、行政主導ではなく、地域で作っていくということがこれからの課題です。</p> <p>(浦野委員長)</p> <p>他に意見質問ありますでしょうか。</p> <p>5. 閉会</p> <p>(浦野委員長)</p> <p>以上で本日の会議の一切を終わらせていただきます。ご協議いただきありがとうございました。</p> <p>【閉会】</p>
資料	<p>事前配布資料</p> <p>(資料1) 次第、委員名簿</p> <p>(資料2) 景観計画の運用状況</p> <p>(資料3-1) 「レクリエーション・観光・生産区域」景観まちづくりに関する懇談会</p> <p>(資料3-2) 景観まちあるきマップ</p> <p>(資料4) 伊駒アルプスロードの環境影響評価準備書(抜粋)</p> <p>(資料5) 実践として取り組む事項とその目標年次</p> <p>(資料番号無し) 第4回景観審議会議事録(確定版)</p> <p>追加配布資料</p> <p>宮田村の景観を考える会活動報告</p> <p>ようこそ宮田村へ</p> <p>伊駒アルプスロード環境影響評価準備書のあらまし</p>